

ダイナミックマップセンター（プロトタイプ）

サーバソフトウェア取扱説明書

（2016 年度版）

2017 年 3 月

ダイナミックマップ構築検討コンソーシアム

## 目次

1. 総則.....	3
1.1. 適用.....	3
1.2. 適用範囲 .....	3
1.3. 注意事項 .....	3
2. 動作環境.....	3
3. 操作説明.....	4
3.1. 基盤的地図配信ソフトウェア .....	4
3.1.1. ディレクトリ／ファイル構成.....	4
3.1.2. 起動および終了.....	5
3.1.2.1. 起動.....	5
3.1.2.2. 終了.....	5
3.1.3. 設定ファイル.....	6
3.1.3.1. common.properties.....	6
3.2. 準動的情報配信ソフトウェア .....	10
3.2.1. ディレクトリ／ファイル構成.....	10
3.2.2. 起動および終了.....	11
3.2.2.1. 起動.....	11
3.2.2.2. 終了.....	11
3.2.3. 設定ファイル.....	12
3.2.3.1. common.properties.....	12
3.3. 検証ソフトウェア【Google Chrome 専用】 .....	18
3.3.1. ディレクトリ／ファイル構成.....	18
3.3.2. 起動および終了.....	19
3.3.2.1. 起動.....	19
3.3.2.2. 終了.....	19
3.3.3. 操作説明.....	20
3.3.3.1. 準動的情報の配信を開始する.....	20
3.3.3.2. 準動的情報の配信を停止する.....	21
3.3.3.3. 配信開始／停止時間を予約して準動的情報の配信を開始する.....	22
3.3.3.4. 準動的情報のシナリオを編集する .....	23
3.3.3.5. 編集した準動的情報のシナリオを配信シナリオに反映する .....	26
3.3.3.6. 編集した準動的情報のシナリオをクライアントに保存する .....	27
3.3.3.7. クライアントに保存した準動的情報のシナリオを読み込む .....	28
3.3.4. 設定ファイル.....	29
3.3.4.1. common.properties.....	29

## 1. 総則

### 1.1. 適用

本書は、ダイナミックマップセンター（プロトタイプ）のサーバソフトウェアの取扱説明書(操作手順書)である。

### 1.2. 適用範囲

本書はダイナミックマップセンター（プロトタイプ）のサーバソフトウェアに適用する。

### 1.3. 注意事項

本書内の画像中で使用されている WEB ブラウザは、特筆している場合を除き Google Chrome を使用しています。

## 2. 動作環境

表 2-1 動作環境

No	ソフトウェア	構成品目
1	基盤的地図配信ソフトウェア	OS : RedHat Enterprise Linux 7.2 ランタイム : JRE 8 Update 111
2	準動的情報配信ソフトウェア	OS : RedHat Enterprise Linux 7.2 ランタイム : JRE 8 Update 111
3	検証ソフトウェア (準動的設定)	OS : RedHat Enterprise Linux 7.2 ランタイム : JRE 8 Update 111

### 3. 操作説明

#### 3.1. 基盤的地図配信ソフトウェア

##### 3.1.1. ディレクトリ／ファイル構成

表 3.1.1-1 基盤的地図配信ソフトウェア ディレクトリ／ファイル構成

No	ディレクトリ/ファイル名	用途
1	/home/[user]/web	[user]は実行ユーザ
2	log	アプリケーションログ 格納ディレクトリ
3	logs	サーバログ 格納ディレクトリ
4	common.properties	設定ファイル
5	logback.xml	ログ出力用設定ファイル

※その他のディレクトリはミドルウェアが使用しているディレクトリです。

### 3.1.2. 起動および終了

#### 3.1.2.1. 起動

(1) TeraTerm などの SSH クライアントから、管理者権限で以下のコマンドを実施します。

```
# service glassfish start
```

#### 3.1.2.2. 終了

(1) TeraTerm などの SSH クライアントから、管理者権限で以下のコマンドを実施します。

```
# service glassfish stop
```

### 3.1.3. 設定ファイル

#### 3.1.3.1. common.properties

表 3.1.3-1 common.properties パラメータ一覧(1/2)

No	キー	パラメータ詳細	備考
1	auth.client.userid.list	ユーザ ID を指定します。 複数のユーザ ID を追加する場合は、「,」で区切って指定します。	
2	auth.client.password.list	auth.client.userid.list のユーザ ID に対応するパスワードを指定します。 複数のパスワードを追加する場合は、「,」で区切って指定します。	
3	common.storage.dir.path	共有ストレージのパスを指定します。	
4	message.login.ng	ログイン失敗時に表示されるメッセージを指定します。	
5	message.login.timeout	セッションタイムアウト時に表示されるメッセージを指定します。	
6	message.no.downloadfile	ダウンロードファイルが存在しない場合のメッセージを指定します。	
7	message.filestream.error	ファイル転送失敗時のメッセージを指定します。	
8	delivery.login_page	「ログアウト」を押下した際に遷移するページを指定します。	再起動後に有効
9	delivery.logged_page	「ログイン」を押下した際に遷移するページを指定します。	再起動後に有効
10	delivery.sdmd.store.dir	基盤的地図情報を格納するディレクトリを指定します。 設定値は、common.storage.dir.path からの相対パスになります。	
11	delivery.sdmd.route.list.n	基盤的地図ダウンロード画面の項目を指定します。 「,」区切りで以下のパラメータを設定します。 1つ目：ルート名称 2つ目：備考 3つ目：delivery.sdmd.store.dir に格納されたファイル名	n は 1 からの数値 (0 サプレス)

表 3.1.3-1 common.properties パラメータ一覧(2/2)

No	キー	パラメータ詳細	備考
12	delivery.sdmd.fileinputstream.read. unit	基盤的地図の配信処理で一度にファイル ストリームに入力するサイズを指定しま す。	単位：バイト
13	delivery.sdmd.downloadhistory.dir	基盤的地図ダウンロード履歴の保存先デ ィレクトリを指定します。	
14	delivery.sdmd.downloadhistory.file	基盤的地図ダウンロード履歴の保存ファ イル名を指定します。 設定した拡張子の前に”_YYYYMM”が自 動的に挿入されます。	YYYYMM:年月

※ここに記載のないキーは、他の機能で使用しているパラメータです。

```

#####
# DMD 共通設定ファイル
# key=value
#####

#####
# 共通
#####

#-----
# クライアント認証 (FY16 検証用)
#-----
auth.client.userid.list=user001,user002,user003,user004,user005
auth.client.password.list=pass001,pass002,pass003,pass004,pass005

#-----
# 共有ストレージパス
#-----
#common.storage.dir.path=/mnt/win

#-----
# メッセージ
#-----
message.login.ng=ユーザ ID またはパスワードが間違っています。
message.login.timeout=タイムアウトが発生しました。再度、ログインしてください。
message.no.downloadfile=ダウンロードデータが存在しません。
message.filestream.error=ファイル転送中にエラーが発生しました。管理者に連絡してください。

#####
# DMD 配信ソフトウェア
#####

#-----
# 画面
#-----
# ログインページ
delivery.login_page=login.xhtml
# ログイン後の初期ページ
delivery.logged_page=static_dmd_route.xhtml

#-----
# 圧縮静的 DMD ファイル格納場所
#-----
# 圧縮静的 DMD ファイル格納ディレクトリ (共有ストレージパスからの相対パス)
delivery.sdmd.store.dir=/map

```

図 3.1.3-1 common.properties サンプル(1/2)



```
#-----  
# 圧縮静的 DMD ファイルリスト  
#-----  
delivery.sdmd.route.list.1=①秦野中井 IC~清水いはら IC, 東名~新東名自動車道, HighwayRoute1.exe  
delivery.sdmd.route.list.2=②東京 IC~横浜町田 IC, 東名自動車道, HighwayRoute2.exe  
delivery.sdmd.route.list.3=③有明 IC~駒形 IC, 首都高, HighwayRoute3.exe  
delivery.sdmd.route.list.4=④お台場エリア一般道, GeneralRoad.exe  
  
#-----  
# ファイル入カストリーム単位 [byte]  
#-----  
delivery.sdmd.fileinputstream.read.unit=4096  
  
#-----  
# ダウンロード履歴ファイル出力場所  
#-----  
# ディレクトリ  
delivery.sdmd.downloadhistory.dir=/mnt/win/log  
# ファイル名 ([. 拡張子]前に"_YYYYMM"が入る)  
delivery.sdmd.downloadhistory.file=DownloadHistory.csv
```

図 3.1.3-1 common.properties サンプル(2/2)

## 3.2. 準動的情報配信ソフトウェア

### 3.2.1. ディレクトリ／ファイル構成

表 3.2.1-1 準動的情報配信ソフトウェア ディレクトリ／ファイル構成

No	ディレクトリ/ファイル名	用途
1	/home/[user]/delivery	[user]は実行ユーザ
2	bin	実行ファイル 格納ディレクトリ
3	semi_dynamic_delivery.sh	起動シェル
4	delivery.jar	実行ファイル
5	env	設定ファイル 格納ディレクトリ
6	common.properties	設定ファイル
7	logback-sddmd-delivery	ログ出力用設定ファイル 格納ディレクトリ
8	logback.xml	ログ出力用設定ファイル
9	lib	
10	delivery-lib.jar	ライブラリ
11	log	アプリケーションログ 格納ディレクトリ
12	sddmd-delivery.log	ログファイル(最新)
13	sddmd-delivery-YYYYMMDD.n.log	ログファイル(バックアップ) YYYYMMDD : 年月日 n : 0 からの連番
14	:	:
15	tmp	設定ファイル

### 3.2.2. 起動および終了

#### 3.2.2.1. 起動

(1) TeraTerm などの SSH クライアントから、以下のコマンドを実施します。

```
$ nohup /home/[user]/delivery/bin/semi_dynamic_delivery.sh &
```

#### 3.2.2.2. 終了

(1) TeraTerm などの SSH クライアントから、以下のコマンドを実施します。

```
$ ps -ef |grep java  
プロセス一覧が表示され、プロセス番号が表示される。  
  
$ kill <表示されたプロセス番号>
```

### 3.2.3. 設定ファイル

#### 3.2.3.1. common.properties

表 3.2.3-1 common.properties パラメータ一覧(1/3)

No	キー	パラメータ詳細	備考
1	auth.client.userid.list	ユーザ ID を指定します。 複数のユーザ ID を追加する場合は、「,」で区切って指定します。	
2	auth.client.password.list	auth.client.userid.list のユーザ ID に対応するパスワードを指定します。 複数のパスワードを追加する場合は、「,」で区切って指定します。	
3	common.storage.dir.path	共有ストレージのパスを指定します。	
4	dmd.socket.common.header.size	地図サプライヤ間インタフェース仕様書の共通ヘッダのサイズを指定します。	
5	dmd.socket.common.sendid.datacenter	地図サプライヤ間インタフェース仕様書の送信先機器識別(データセンタ)の ID を指定します	
6	dmd.socket.common.sendid.mapsupplier	地図サプライヤ間インタフェース仕様書の送信先機器識別(地図サプライヤ)の ID を指定します	
7	dmd.socket.dataid.auth.request	地図サプライヤ間インタフェース仕様書の認証情報のデータ ID を指定します	
8	dmd.socket.dataid.auth.result	地図サプライヤ間インタフェース仕様書の認証結果のデータ ID を指定します	
9	dmd.socket.dataid.sdmd.highway	地図サプライヤ間インタフェース仕様書の高速道準動的情報のデータ ID を指定します	
10	dmd.socket.dataid.sdmd.general	地図サプライヤ間インタフェース仕様書の一般道準動的情報のデータ ID を指定します	
11	dmd.socket.auth.userid.size	地図サプライヤ間インタフェース仕様書の認証情報フォーマットのユーザ名のサイズを指定します	
12	dmd.socket.auth.password.size	地図サプライヤ間インタフェース仕様書の認証情報フォーマットのパスワードのサイズを指定します	
13	dmd.socket.auth.result.size	地図サプライヤ間インタフェース仕様書の認証結果フォーマットの認証結果のサイズを指定します	
14	dmd.socket.auth.result.success	地図サプライヤ間インタフェース仕様書の認証結果フォーマットの認証結果の正常時に返信する値を指定します	

表 3.2.3-1 common.properties パラメータ一覧(2/3)

No	キー	パラメータ詳細	備考
15	dmd.socket.auth.result.error	地図サプライヤ間インタフェース仕様書の認証結果フォーマットの認証結果の異常時に返信する値を指定します	
16	sddmd.delivery.highway.period	高速道準動的情報の配信周期を指定します。	単位：分
17	sddmd.delivery.generalroad.period	一般道準動的情報の配信周期を指定します。	単位：分
18	delivery.sddmd.create.sec	準動的情報から圧縮準動的情報を生成するタイミングを指定します。 検証ソフトウェアの <code>sim.sddmd.create.timing.offset</code> より後の値を設定してください。	単位：秒
19	delivery.sddmd.read.sec	圧縮準動的情報の配信準備を開始するタイミングを指定します。 <code>delivery.sddmd.create.sec</code> より後の値を設定してください。	単位：秒
20	delivery.sddmd.send.sec	圧縮準動的情報をクライアントへ配信するタイミングを指定します。	単位：秒
21	sddmd.roadtype.highway	高速道路の道路種別を指定します。	
22	sddmd.roadtype.highway.code	高速道路の道路種別コードを指定します。	
23	sddmd.roadtype.highway.name	高速道路の道路種別名称を指定します。	
24	sddmd.roadtype.generalroad	一般道路の道路種別を指定します。	
25	sddmd.roadtype.generalroad.code	一般道路の道路種別コードを指定します。	
26	sddmd.roadtype.generalroad.name	一般道路の道路種別名称を指定します。	
27	sddmd.output.dir	準動的情報の出力先ディレクトリを指定します。 設定値は、 <code>common.storage.dir.path</code> からの相対パスになります。	
28	sddmd.output.srcfile.prefix	準動的情報のファイル名プレフィックスを指定します。 1つ目の設定値がデータタイプ 1 に対応します。	

表 3.2.3-1 common.properties パラメータ一覧(3/3)

No	キー	パラメータ詳細	備考
29	delivery.sddmd.auth_err or.timeout	エラー! 参照元が見つかりません。の認証異常タイムアウト値を指定します。	単位: ミリ秒
30	delivery.sddmd.auth_che ck.timeout	エラー! 参照元が見つかりません。の接続確認タイムアウト値を指定します。	単位: ミリ秒
31	delivery.sddmd.send.serv er.port	エラー! 参照元が見つかりません。の接続待ち受けポートを指定します。	
32	delivery.sddmd.send.serv er.timeout	エラー! 参照元が見つかりません。の終了確認タイムアウト値を指定します。	単位: ミリ秒
33	delivery.sddmd.send.serv er.thread.max	同時にエラー! 参照元が見つかりません。を待ち受ける最大数を指定します。	
34	delivery.sddmd.zipfile.pr efix	圧縮準動的情報のファイル名プレフィックスを指定します。	
35	delivery.sddmd.zipfile.ou tput.dir	圧縮準動的情報の出力先ディレクトリを指定します。設定値は、common.storage.dir.path からの相対パスになります。	

※ここに記載のないキーは、他の機能で使用しているパラメータです。

```

#####
# DMD 共通設定ファイル
# key=value
#####

#####
# 共通
#####
#-----
# クライアント認証(FY16 検証用)
#-----
auth.client.user.id.list=0123456789abcdef, user001, user002, user003
auth.client.password.list=0123456789abcdef, pass001, pass002, pass003

#-----
# 共有ストレージパス
#-----
common.storage.dir.path=/mnt/win

#-----
# DMD ソケットインタフェースデータ
#-----
# 共通ヘッダ
dmd.socket.common.header.size=24
dmd.socket.common.sendid.datacenter=0x10
dmd.socket.common.sendid.mapsupplier=0x11

# データ ID
dmd.socket.dataid.auth.request=0x10
dmd.socket.dataid.auth.result=0x11
dmd.socket.dataid.sdmd.highway=0x20
dmd.socket.dataid.sdmd.general=0x21

# クライアント認証
dmd.socket.auth.userid.size=16
dmd.socket.auth.password.size=16
dmd.socket.auth.result.size=8
dmd.socket.auth.result.success=0x00
dmd.socket.auth.result.error=0x01

#=====
# 準動的 DMD 共通
#=====
#-----
# 準動的 DMD 配信周期
#-----
# 高速道データ配信周期[分]
sddmd.delivery.highway.period=1
# 一般道データ配信周期[分]
sddmd.delivery.generalroad.period=5

```

図 3.2.3-1 common.properties サンプル(1/3)

```

#-----
# 準動的 DMD ファイル生成、配信タイミング
#-----
# 圧縮準動的 DMD ファイル生成開始タイミング[秒] (設定値:[準動的 DMD ファイル生成開始タイミング]~59)
delivery.sddmd.create.sec=50
# 圧縮準動的 DMD ファイル読み込み開始タイミング[秒] (設定値:[圧縮準動的 DMD ファイル生成開始タイミング]~59)
delivery.sddmd.read.sec=58
# 圧縮準動的 DMD データ送信タイミング[秒] (設定値:0~[準動的 DMD ファイル生成開始タイミング])
delivery.sddmd.send.sec=0

#-----
# 準動的 DMD 生成用道路種別
#-----
# 高速道路
sddmd.roadtype.highway=highway
sddmd.roadtype.highway.code=01
sddmd.roadtype.highway.name=高速道路
# 一般道路
sddmd.roadtype.generalroad=generalroad
sddmd.roadtype.generalroad.code=02
sddmd.roadtype.generalroad.name=一般道路

#-----
# 準動的 DMD 出力先
#-----
# 準動的 DMD ファイル保存ディレクトリ (共有ストレージパスからの相対パス)
sddmd.output.dir=/semiDynamic
# 準動的 DMD ファイル名のプレフィックス(データタイプ1,2,...)
sddmd.output.srcfile.prefix=TrafficJamInf, TrafficRegulationInf, HighwayExitInf, TunnelClosureInf, StopVehicleInf, WinterClosureInf

#-----
# 準動的 DMD 配信機能
#-----
#-----
# クライアント接続タイムアウト値
#-----
# クライアント認証異常タイムアウト(msec)
delivery.sddmd.auth_error.timeout=2000
# クライアント接続確認タイムアウト(msec)
delivery.sddmd.auth_check.timeout=100

#-----
# 準動的 DMD 配信要求受付サーバ
#-----
# ポート番号
delivery.sddmd.send.server.port=11500
# 接続待機状態における終了確認用のタイムアウト値[msec]
delivery.sddmd.send.server.timeout=30000
# 最大スレッド数
delivery.sddmd.send.server.thread.max=12

```

図 3.1.3-1 common.properties サンプル(2/3)



```
#-----  
# 準動的 DMD 生成  
#-----  
# 圧縮準動的 DMD ファイルのプレフィックス  
delivery.sddmd.zipfile.prefix=SDDMD  
# 圧縮準動的 DMD ファイル出力ディレクトリ (共有ストレージパスからの相対パス)  
delivery.sddmd.zipfile.output.dir=/semiDynamic/zip
```

図 3.1.3-1 common.properties サンプル(3/3)

### 3.3. 検証ソフトウェア【Google Chrome 専用】

#### 3.3.1. ディレクトリ／ファイル構成

表 3.3.1-1 検証ソフトウェア【Google Chrome 専用】 ディレクトリ／ファイル構成

No	ディレクトリ/ファイル名	用途
1	/home/[user]/web	[user]は実行ユーザ
2	log	アプリケーションログ 格納ディレクトリ
3	logs	サーバログ 格納ディレクトリ
4	common.properties	設定ファイル
5	logback.xml	ログ出力用設定ファイル

※その他のディレクトリはミドルウェアが使用しているディレクトリです。

### 3.3.2. 起動および終了

#### 3.3.2.1. 起動

(1) TeraTerm などの SSH クライアントから、管理者権限で以下のコマンドを実施します。

```
# service glassfish start
```

#### 3.3.2.2. 終了

(1) TeraTerm などの SSH クライアントから、管理者権限で以下のコマンドを実施します。

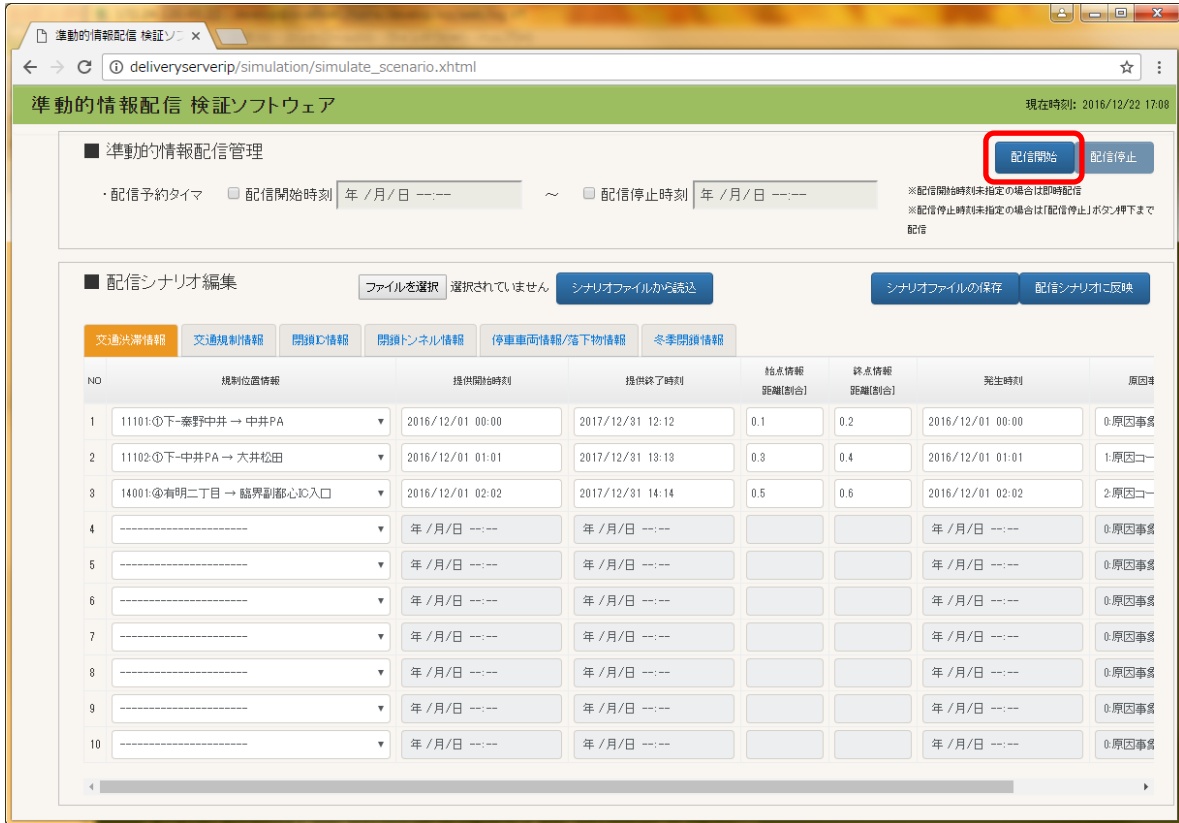
```
# service glassfish stop
```

### 3.3.3. 操作説明

#### 3.3.3.1. 準動的情報の配信を開始する

(1) WEB ブラウザ(Google Chrome)で検証ソフトウェアメイン画面にアクセスします。  
ログイン画面の URL は「http://<配信サーバの IP>simulation/」になります。

(2) 「配信開始」ボタンを押下します。



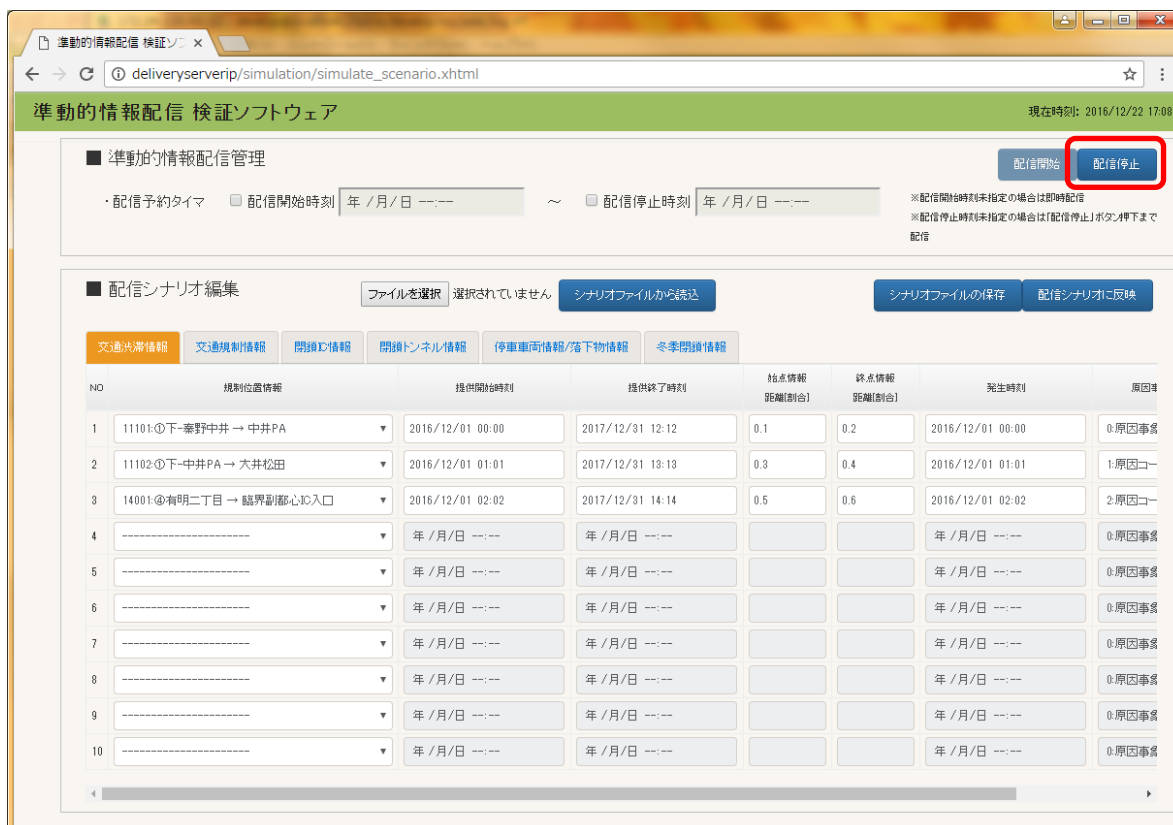
※既に配信中の場合、「配信開始」ボタンは押せません。

(3) 正常に配信開始された場合、画面上部に「準動的情報配信を開始しました。」メッセージが表示されます。

※配信シナリオ編集画面には、配信中のシナリオデータが表示されます。

### 3.3.3.2. 準動的情報の配信を停止する

(1) 「配信停止」 ボタンを押下します。



※配信中ではない場合、「配信停止」 ボタンは押せません。

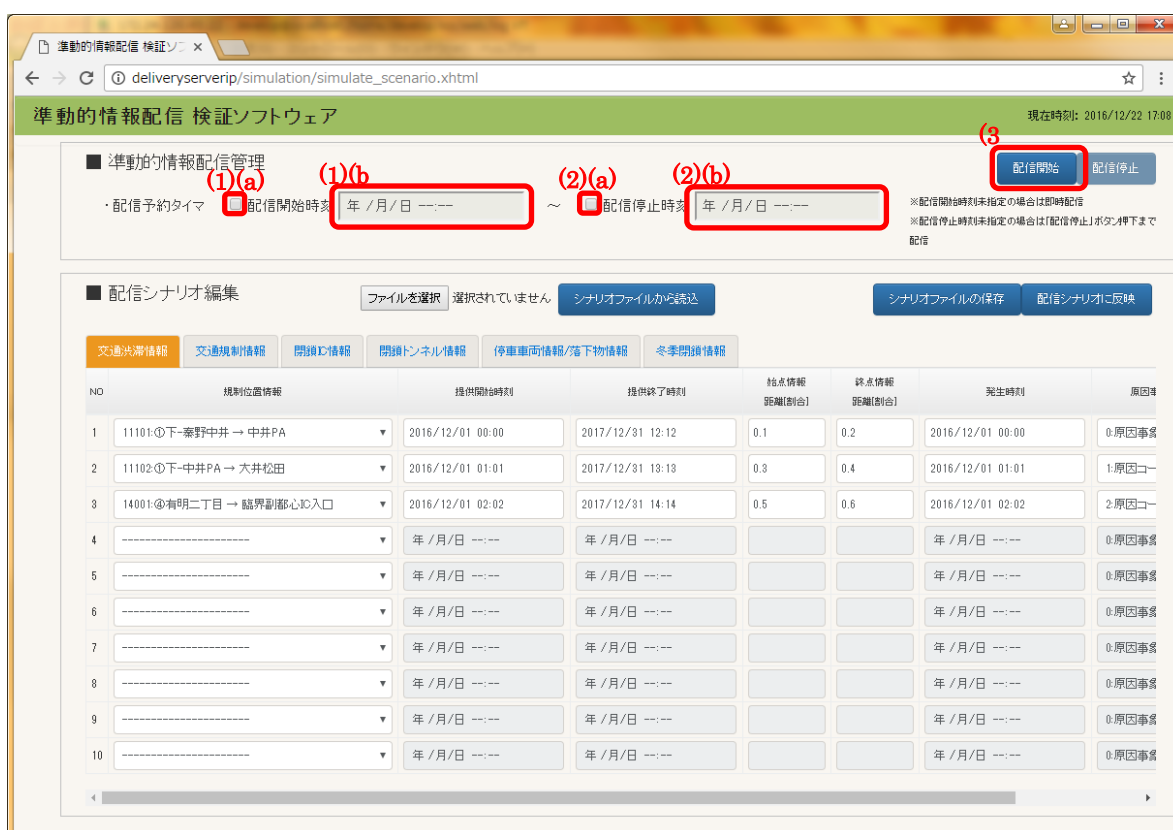
(2) 正常に配信停止された場合、画面上部に「準動的情報配信を停止しました。」メッセージが表示されます。

### 3.3.3.3. 配信開始／停止時間を予約して準動的情報の配信を開始する

- (1) 配信開始時刻を指定する場合
  - (a) 配信予約タイムの「配信開始時刻」にチェックを入れます。
  - (b) 「配信開始時刻」ボックスに、配信開始を予定する時刻を設定します。
- (2) 配信停止時刻を指定する場合
  - (a) 配信予約タイムの「配信停止時刻」にチェックを入れます。
  - (b) 「配信停止時刻」ボックスに、配信停止を予定する時刻を設定します。
- (3) 「配信開始」ボタンを押下します。

配信開始時刻を指定した場合は「配信開始時刻」から、指定しなかった場合は次の配信周期から配信が開始されます。

また、配信停止時刻を指定した場合は「配信停止時刻」まで、指定しなかった場合は「配信停止」ボタンを押下するまで配信が継続します。



### 3.3.3.4. 準動的情報のシナリオを編集する

- (1) 編集したい情報のタブを選択します。  
(図では「交通渋滞情報」が選択されています)
- (2) 「規制位置情報」のプルダウンメニューから、事象を発生させたい規制位置を選択します。  
規制位置が選択されると、詳細な項目の設定が可能になります。

準動的情報配信 検証ソフトウェア

現在時刻: 2016/12/22 18:20

■ 準動的情報配信管理

配信予約タイム  配信開始時刻 年/月/日 ---:-- ~  配信停止時刻 年/月/日 ---:--

※配信開始時刻未指定の場合は即時配信  
※配信停止時刻未指定の場合は「配信停止」ボタン押下まで配信

■ 配信シナリオ編集

ファイルを選択 選択されていません シナリオファイルから読み込み

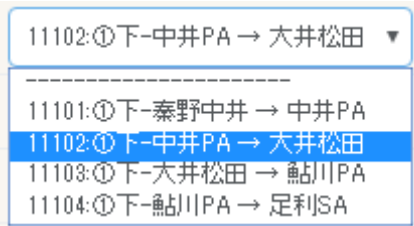
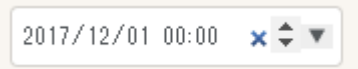

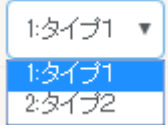
シナリオファイルの保存 配信シナリオに反映

(1) 交通渋滞情報 交通規制情報 開道工情報 開道トンネル情報 停車車両情報/落下物情報 冬季閉鎖情報

NO	規制位置情報	提供開始時刻	提供終了時刻	起点情報 (規制制令)	終点情報 (規制制令)	発生時刻	原因事象
1	11101:①下-秦野中井 → 中井PA	年/月/日 ---:--	年/月/日 ---:--			年/月/日 ---:--	0:原因事象なし
2		年/月/日 ---:--	年/月/日 ---:--			年/月/日 ---:--	1:事故
3		年/月/日 ---:--	年/月/日 ---:--			2016/12/01 02:02	2:XXX
4		年/月/日 ---:--	年/月/日 ---:--			年/月/日 ---:--	0:原因事象なし
5		年/月/日 ---:--	年/月/日 ---:--			年/月/日 ---:--	0:原因事象なし
6		年/月/日 ---:--	年/月/日 ---:--			年/月/日 ---:--	0:原因事象なし
7		年/月/日 ---:--	年/月/日 ---:--			年/月/日 ---:--	0:原因事象なし
8		年/月/日 ---:--	年/月/日 ---:--			年/月/日 ---:--	0:原因事象なし
9		年/月/日 ---:--	年/月/日 ---:--			年/月/日 ---:--	0:原因事象なし
10		年/月/日 ---:--	年/月/日 ---:--			年/月/日 ---:--	0:原因事象なし

※各設定項目の設定方法および画面例は次頁の表を参照ください。

表 3.3.3-1 検証ソフトウェア【Google Chrome 専用】 シナリオ編集画面 設定項目一覧(1/2)

No	設定項目名	設定方法	画面例	設定項目の出現タブ <sup>1</sup>					
				①	②	③	④	⑤	⑥
1	規制位置情報	プルダウンメニューから設定する項目を選択します。		○	○	○	○	○	○
2	提供開始時刻	✖ ボタン: 入力項目をクリアします。		○	○	○	○	○	○
3	提供終了時刻	⬆ ボタン: 選択した年月日時分の数値を増減します。 ▼ ボタン: カレンダーから年月日を選択します。また、キーボードからの入力も可能です。		○	○	○	○	○	○
4	始点情報距離[割合]	⬆ ボタン: 0.000001 刻みで数値を増減します。また、キーボードからの入力も可能です。		○	○	-	-	○	○
5	終点情報距離[割合]			○	○	-	-	-	○
6	発生時刻	設定方法は「No.2 提供開始時刻」と同一です。	画面例は「No.2 提供開始時刻」と同一です。	○	-	-	-	○	-
7	規制期間情報タイプ	プルダウンメニューから設定する項目を選択します。		-	○	○	○	-	○
8	開始日時	【規制期間情報タイプがタイプ1の時のみ、設定可】 設定方法は「No.2 提供開始時刻」と同一です。	画面例は「No.2 提供開始時刻」と同一です。	-	○	○	○	-	○
9	終了日時			-	○	○	○	-	○

<sup>1</sup> ①: 交通渋滞情報タブ

④: 閉鎖トンネル情報タブ

②: 交通規制情報タブ



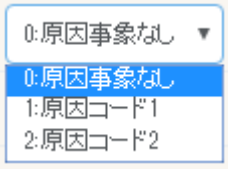
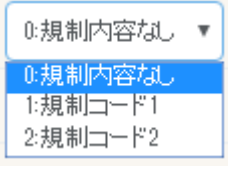

⑤: 停車車両情報/落下物情報タブ

③: 閉鎖 IC 情報タブ

⑥: 冬季閉鎖情報タブ



表 3.3.3-1 検証ソフトウェア【Google Chrome 専用】 シナリオ編集画面 設定項目一覧(2/2)

No	設定項目名	設定方法	画面例	設定項目の出現タブ					
				①	②	③	④	⑤	⑥
10	開始日	【規制期間情報タイプがタイプ2の時のみ、設定可】 ✕ ボタン：入力項目をクリアします。		-	○	○	○	-	○
11	終了日	⬆ ボタン：選択した年月日の数値を増減します。 ▼ ボタン：カレンダーから年月日を選択します。 また、キーボードからの入力も可能です。		-	○	○	○	-	○
12	開始時刻	【規制期間情報タイプがタイプ2の時のみ、設定可】 ✕ ボタン：入力項目をクリアします。		-	○	○	○	-	○
13	終了時刻	⬆ ボタン：選択した年月日の数値を増減します。 また、キーボードからの入力も可能です。		-	○	○	○	-	○
14	原因事象	プルダウンメニューから設定する項目を選択します。		○	-	-	-	-	○
15	規制内容	プルダウンメニューから設定する項目を選択します。		-	○	○	○	-	○
16	渋滞度	プルダウンメニューから設定する項目を選択します。		○	-	-	-	-	-

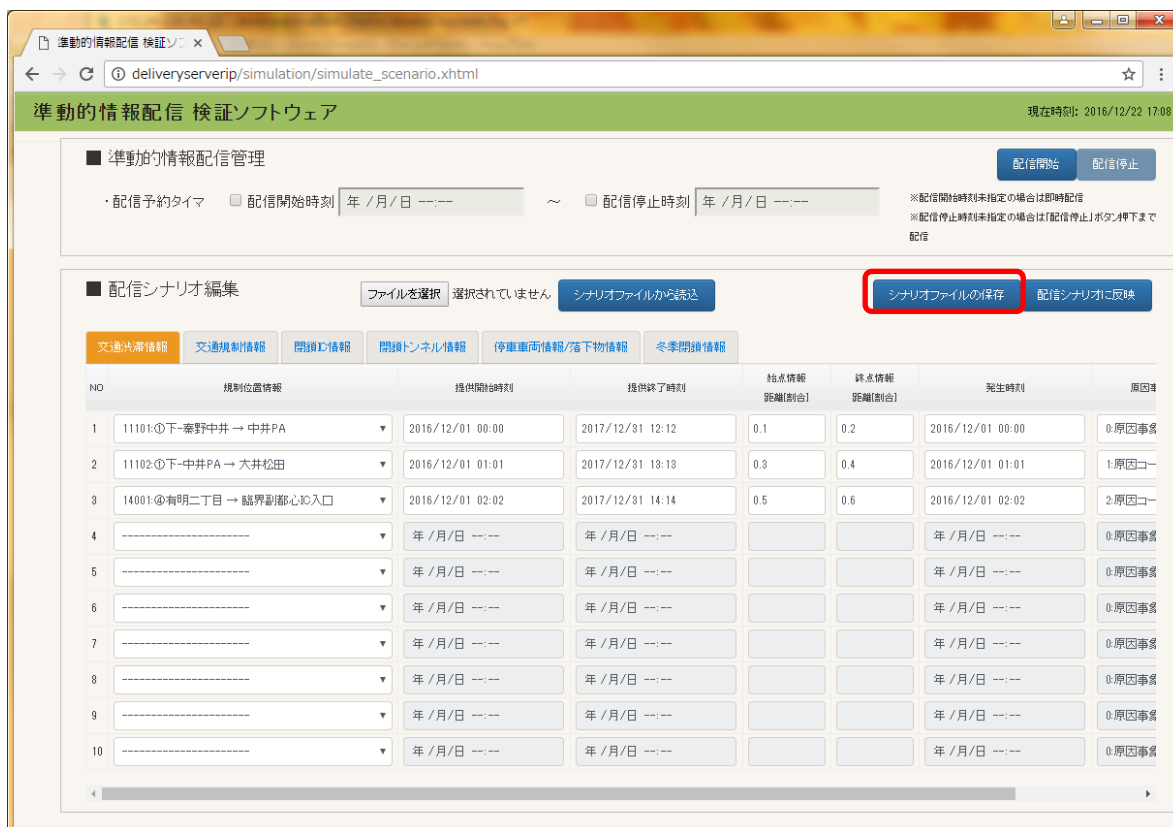
### 3.3.3.5. 編集した準動的情報のシナリオを配信シナリオに反映する

- (1) 「配信シナリオに反映」 ボタンを押下します。
- (2) 正常に反映された場合、画面上部に「シナリオ反映が完了しました」メッセージが表示されます。以降、反映された配信シナリオに従って、準動的情報が配信されます。



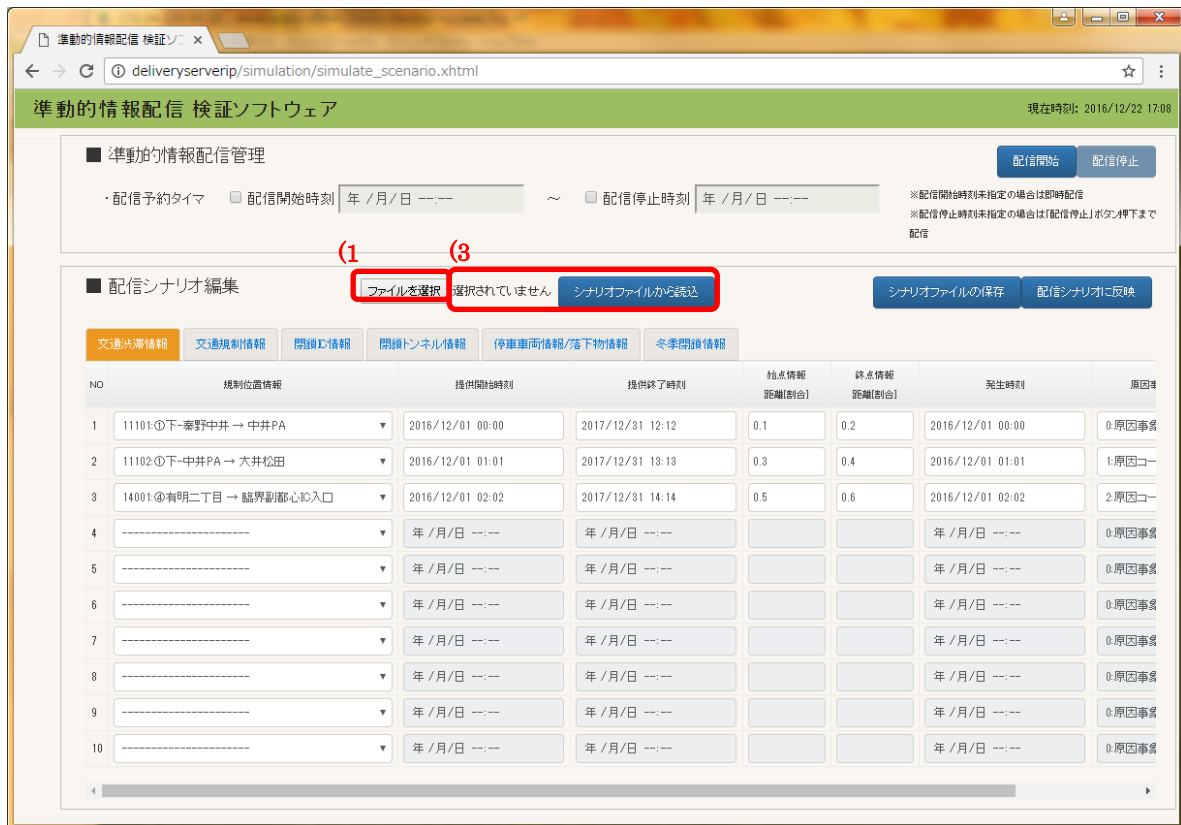
### 3.3.3.6. 編集した準動的情報のシナリオをクライアントに保存する

- (1) 「シナリオファイルの保存」ボタンを押下します。
- (2) 「名前を付けて保存」ダイアログから、クライアントの保存先を選択します。  
この時、保存されるファイル名は「Scenario\_YYYYMMDDhhmmss.csv」に設定されています。  
必要に応じて変更してください。
- (3) 「保存」ボタンを押下します。  
選択された保存先に配信シナリオファイルが保存されます。



### 3.3.3.7. クライアントに保存した準動的情報のシナリオを読み込む

- (1) 「ファイルを選択」ボタンを押下します。
- (2) 「開く」ダイアログから、画面に読み込ませたい配信シナリオファイルを選択します。
- (3) 「選択されていません」が選択した配信シナリオファイル名になります。  
その状態で「シナリオファイルから読込」ボタンを押下します。
- (4) 正常にファイルが読み込まれた場合、画面上部に「シナリオ読込が完了しました。」メッセージが表示されます。
- (5) 配信シナリオファイルの内容が各タブに反映されます。



### 3.3.4. 設定ファイル

#### 3.3.4.1. common.properties

表 3.3.4-1 common.properties パラメータ一覧(1/3)

No	キー	パラメータ詳細	備考
1	common.storage.dir.path	共有ストレージのパスを指定します。	
2	message.pulldown	サーバのプルダウンメニュー取得失敗時メッセージを指定します。	
3	message.scenario.set	サーバの配信シナリオ読み込み時に表示されるメッセージを指定します。	
4	message.scenario.import	シナリオファイル読み込み失敗時に表示されるメッセージを指定します。	
5	message.scenario.export	シナリオファイル保存失敗時に表示されるメッセージを指定します。	
6	message.scenario.reflect	配信シナリオ反映失敗時に表示されるメッセージを指定します。	
7	message.delivery.start	準動的情報の配信開始失敗時に表示されるメッセージを指定します。	
8	sddmd.delivery.highway.period	高速道準動的情報の配信周期を指定します。	単位：分
9	sddmd.delivery.generalroad.period	一般道準動的情報の配信周期を指定します。	単位：分
10	sim.sddmd.create.timing.offset	準動的情報を生成するタイミングを指定します。 例) 40 を指定した場合、毎分 40 秒に生成処理を開始します。	単位：秒 設定値：1～59
11	sddmd.roadtype.highway	高速道路の道路種別を指定します。	
12	sddmd.roadtype.highway.code	高速道路の道路種別コードを指定します。	
13	sddmd.roadtype.highway.name	高速道路の道路種別名称を指定します。	
14	sddmd.roadtype.generalroad	一般道路の道路種別を指定します。	
15	sddmd.roadtype.generalroad.code	一般道路の道路種別コードを指定します。	
16	sddmd.roadtype.generalroad.name	一般道路の道路種別名称を指定します。	

表 3.1.3-1 common.properties パラメーター一覧(2/3)

No	キー	パラメータ詳細	備考
17	sddmd.output.dir	準動的情報の出力先ディレクトリを指定します。 設定値は、common.storage.dir.path からの相対パスになります。	
18	sddmd.output.srcfile.prefix	準動的情報のファイル名プレフィックスを指定します。 1つ目の設定値がデータタイプ1に対応します。	
19	sim.scenario.disp.max	シナリオ編集画面に表示される最大行数を指定します。	
20	sim.scenario.dir	配信シナリオファイルの保存先ディレクトリを指定します。	
21	sim.scenario.file	配信シナリオファイルのファイル名を指定します。	
22	sim.pulldown.file.dir	シナリオ編集画面のプルダウンメニューの保存先ディレクトリを指定します。	
23	sim.pulldown.fromto.file	交通渋滞情報、交通規制情報、冬季閉鎖情報 規制位置情報リストのファイル名を指定します。	
24	sim.pulldown.closureic.file	自動車専用道の出入り口の閉鎖情報 規制位置情報リストのファイル名を指定します。	
25	sim.pulldown.closuretunnel.file	トンネルの閉鎖情報 規制位置情報リストのファイル名を指定します。	
26	sim.pulldown.obstacle.file	停車車両情報、落下物情報 規制位置情報リストのファイル名を指定します。	
27	sim.pulldown.causecode.file	原因内容コードリストのファイル名を指定します。	
28	sim.pulldown.regulatorycode.file	規制内容コードリストのファイル名を指定します。	
29	sim.pulldown.jamlevel.file	渋滞度コードリストのファイル名を指定します。	
30	sim.fileinputstream.read.unit	シナリオファイルの保存処理で一度にファイルストリームに入力するサイズを指定します。	単位：バイト
31	sim.output.tmpscenario.dir	編集中の配信シナリオファイルを一時的に保存するディレクトリを指定します。	
32	sim.output.tmpscenario.file	編集中の配信シナリオファイルを一時的に保存するファイル名を指定します。 設定した拡張子の前に”_YYYYMMDDhhmmss”が自動的に挿入されます。	

表 3.1.3-1 common.properties パラメータ一覧(3/3)

No	キー	パラメータ詳細	備考
33	sim.sddmd.create.state.timeout	準動的情報生成開始の待ち時間を指定します。 待ち時間を経過しても生成処理が開始されない場合、処理を中断します。	単位：秒
34	sim.sddmd.time.accuracy.value	準動的情報の「発生時刻確度」に設定される値を指定します。 ハイフン(-)を指定した場合は、当該列は空白で出力されます。	
35	sim.sddmd.time.weekdayonly.value	準動的情報の「平日のみ」に設定される値を指定します。 ハイフン(-)を指定した場合は、当該列は空白で出力されます。	
36	sim.sddmd.datatype.trafficjam	交通渋滞情報をログ出力する際の名称を指定します。	
37	sim.sddmd.datatype.regulation	交通規制情報をログ出力する際の名称を指定します。	
38	sim.sddmd.datatype.closureic	閉鎖 IC 情報をログ出力する際の名称を指定します。	
39	sim.sddmd.datatype.closuretunnel	閉鎖トンネル情報をログ出力する際の名称を指定します。	
40	sim.sddmd.datatype.obstacle	停車車両/落下物情報をログ出力する際の名称を指定します。	
41	sim.sddmd.datatype.winterclosure	冬季閉鎖情報をログ出力する際の名称を指定します。	

※ここに記載のないキーは、他の機能で使用しているパラメータです。

```

#####
# DMD 共通設定ファイル
# key=value
#####

#####
# 共通
#####
#-----
# 共有ストレージパス
#-----
common.storage.dir.path=/mnt/win

#-----
# メッセージ
#-----
message.pulldown=プルダウンメニューの取得に失敗しました。
message.scenario.set=シナリオファイルの取得に失敗しました。
message.scenario.import=シナリオファイルの読込に失敗しました。
message.scenario.export=シナリオファイルの保存に失敗しました。
message.scenario.reflect=シナリオファイルの反映に失敗しました。
message.delivery.start=準動的情報の配信開始処理に失敗しました。

#=====
# 準動的 DMD 共通
#=====
#-----
# 準動的 DMD 配信周期
#-----
# 高速道データ配信周期[分]
sddmd.delivery.highway.period=1
# 一般道データ配信周期[分]
sddmd.delivery.generalroad.period=5

#-----
# 準動的 DMD ファイル生成、配信タイミング
#-----
# 準動的 DMD ファイル生成開始タイミング[秒] (ex. 40 の場合、xx 分 40 秒から生成開始) (設定値:1~59)
sim.sddmd.create.timing.offset=30

#-----
# 準動的 DMD 生成用道路種別
#-----
# 高速道路
sddmd.roadtype.highway=highway
sddmd.roadtype.highway.code=01
sddmd.roadtype.highway.name=高速道路
# 一般道路
sddmd.roadtype.generalroad=generalroad
sddmd.roadtype.generalroad.code=02
sddmd.roadtype.generalroad.name=一般道路

```

図 3.3.4-1 common.properties サンプル(1/3)



```

#-----
# 準動的 DMD 出力先
#-----
# 準動的 DMD ファイル保存ディレクトリ (共有ストレージパスからの相対パス)
sddmd.output.dir=/semiDynamic
# 準動的 DMD ファイル名のプレフィックス(データタイプ 1, 2, ...)
sddmd.output.srcfile.prefix=TrafficJamInf, TrafficRegulationInf, HighwayExitInf, TunnelClosureInf, StopVehicleInf, WinterClosureInf

#####
# 検証ソフトウェア
#####
#-----
# シナリオ編集画面の表示
#-----
# 表示するシナリオ最大行数
sim.scenario.disp.max=10
# シナリオファイル所在地
sim.scenario.dir=./src/test/resources/scenario
sim.scenario.file=Scenario.csv

#-----
# シナリオ編集画面のプルダウンメニュー
#-----
# リストファイル格納ディレクトリ
sim.pulldown.file.dir=./src/test/resources/pulldown
# 渋滞/規制/冬季閉鎖用リストパス
sim.pulldown.fromto.file=FromToList.csv
# 閉鎖 IC 用リストパス
sim.pulldown.closureic.file=ClosureICList.csv
# 閉鎖トンネル用リストパス
sim.pulldown.closuretunnel.file=ClosureTunnelList.csv
# 停車車両/落下物用リストパス
sim.pulldown.obstacle.file=ObstacleList.csv
# 原因事象コード用リストパス
sim.pulldown.causecode.file=CauseCodeList.csv
# 規制内容コード用リストパス
sim.pulldown.regulatorycode.file=RegulatoryCodeList.csv
# 渋滞度用リストパス
sim.pulldown.jamlevel.file=JamLevelList.csv

#-----
# ファイル入カストリーム単位 [byte]
#-----
sim.fileinputstream.read.unit=4096

#-----
# TMP シナリオファイル出力先
#-----
# ディレクトリ
sim.output.tmpscenario.dir=./tmp
# 出力ファイル名 ([. 拡張子]前に“_YYYYMMDDhhmmss”が入る)
sim.output.tmpscenario.file=Scenario.csv

```

図 3.3.4-1 common.properties サンプル(2/3)

```
#-----  
# 準動的情報生成状態タイムアウト[秒]  
#-----  
sim.sddmd.create.state.timeout=2  
  
#-----  
# 準動的情報固定値パラメータ  
#-----  
# 発生時刻確度("-"指定で空白出力)  
sim.sddmd.time.accuracy.value=-  
# 平日のみ("-"指定で空白出力)  
sim.sddmd.time.weekdayonly.value=-  
  
#-----  
# 準動的情報各データタイプ  
#-----  
sim.sddmd.datatype.trafficjam=交通渋滞情報  
sim.sddmd.datatype.regulation=交通規制情報  
sim.sddmd.datatype.closureic=閉鎖IC情報  
sim.sddmd.datatype.closuretunnel=閉鎖トンネル情報  
sim.sddmd.datatype.obstacle=停車車両/落下物情報  
sim.sddmd.datatype.winterclosure=冬季閉鎖情報
```

図 3.3.4-1 common.properties サンプル(3/3)